

## 北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	頸動脈ステント留置術の長期成績の変遷 －CASPER 導入前後及び急性期頸動脈閉塞に対する治療戦略の後方視的観察研究－ (B25-183)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部脳神経内科学助教 碓井 遼
本研究の概要・背景・目的	<p>頸動脈狭窄症は、脳梗塞の重要な原因の一つであり、その治療として頸動脈ステント留置術(CAS)が広く行われています。当院においても、これまで多くの患者さんにCASを施行してきました。</p> <p>近年、使用されるステントや治療手技は進歩しており、従来使用されてきたステントに加えて、新しい構造をもつステントが導入されています。</p> <p>また、内頸動脈の狭窄が原因で急性に血管が閉塞した患者さんに対しては、治療のタイミングや方法について複数の選択肢があり、最適な治療戦略については十分に検討されていない点もあります。</p> <p>このように、治療機器や治療戦略が変化する中で、実際の診療現場における治療成績や長期的な経過を整理・検討することは、今後の診療の質の向上につながると考えられます。</p> <p>そこで本研究では、北里大学病院において過去の頸動脈ステント留置術を受けられた患者さんの診療録や画像情報を用いて、治療成績や長期経過を後方視的に解析し、使用されたステントや治療方法の違いが予後に与える影響を明らかにすることを目的としています。</p>
調査データ 該当期間	2015年1月1日から2025年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2015年7月1日から2025年6月30日までの間に内頸動脈狭窄症に対して頸動脈ステント留置術を施行された患者さんを対象とします。
研究の方法 (使用する試料等)	2015年1月1日から2025年12月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、脳神経内科学医局研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象とし</p>

せんで、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

**所属・職位：脳神経内科学・助教**

**担当者：碓井 遼（ウスイ リョウ）**

**電話：042-778-8136**